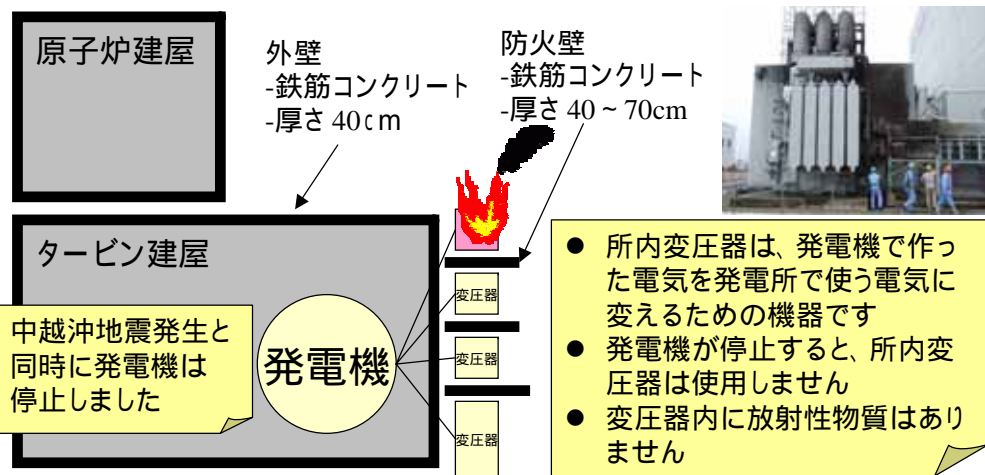


中越沖地震で柏崎刈羽原子力発電所は危なかったのか？

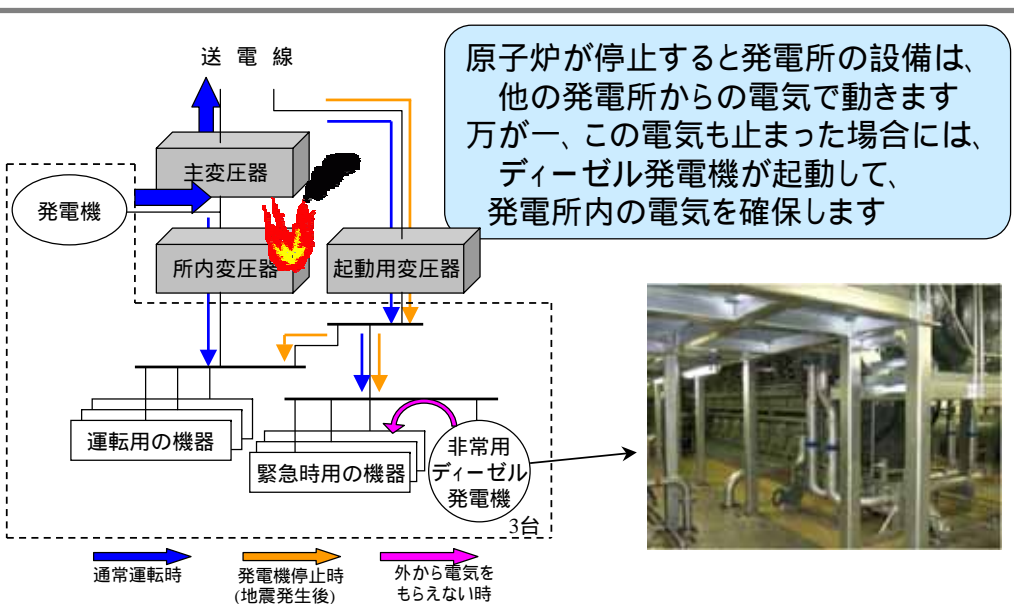
3号機 所内変圧器の火災は重大事故の一手手前だったのか？

他の建物・設備への影響は？

所内変圧器の火災は、鉄筋コンクリートの壁により、他の建物、設備に広がる恐れはありませんでした。



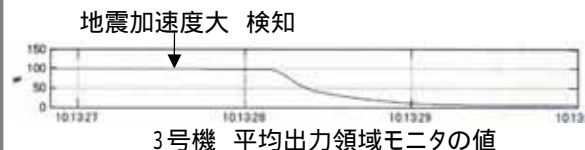
電気がなくて大事な設備は動いたの？



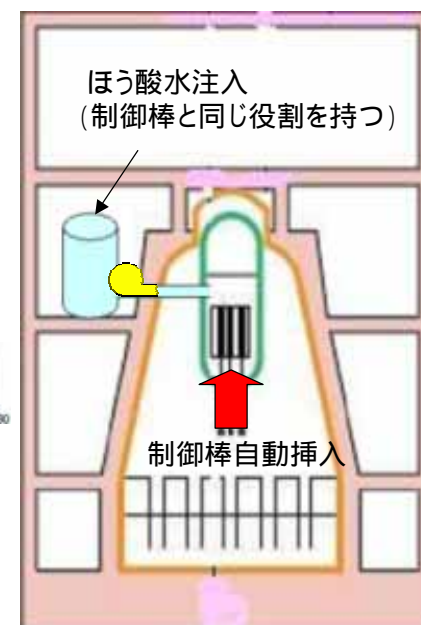
原子炉が緊急停止できない可能性はあったのか？

地震時における制御棒の挿入は重要な機能であるため、工場で地震を模擬した試験が行われています

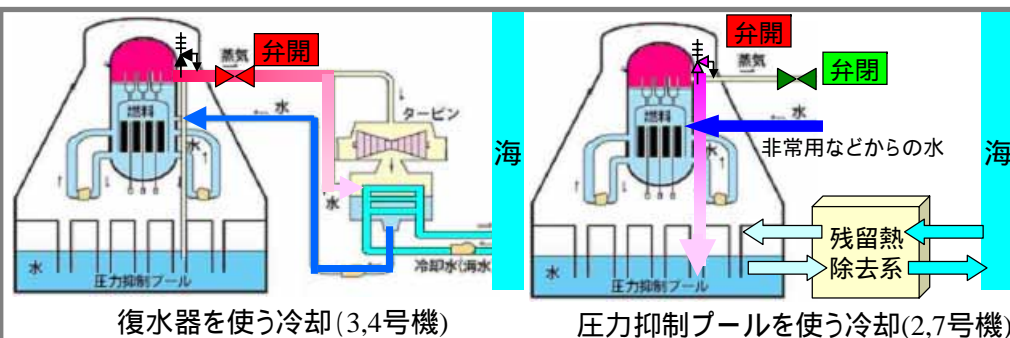
中越沖地震では、制御棒が自動挿入され、約2秒で原子炉出力は停止しました



万が一、制御棒の挿入ができない場合には、制御棒と同じ核分裂を抑える役割を持つほう酸水を入れることで、原子炉を止めることができます



原子炉を安全に冷やす方法は1つだけ？



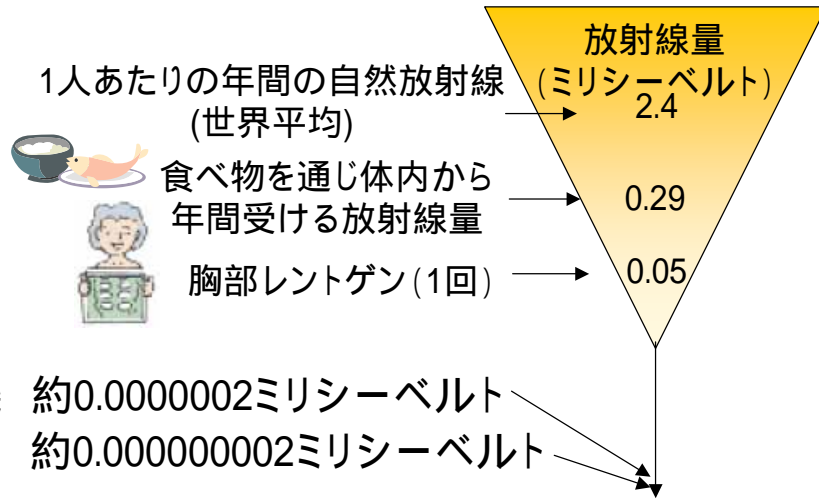
原子炉停止後の冷却には、復水器を使う冷却と圧力抑制プールを使う冷却の2通りがあります。両方とも、運転員は訓練を重ねており、安全に冷却することができます

で冷却した3号機と4号機は、放射性物質を外に出さないために必要な外から供給するきれいな蒸気を1台分のみ確保できていたため、3号機 4号機の順序で冷却を行いました

中越沖地震で柏崎刈羽原子力発電所は危なかったのか？

放出された放射性物質は環境に影響があるの？

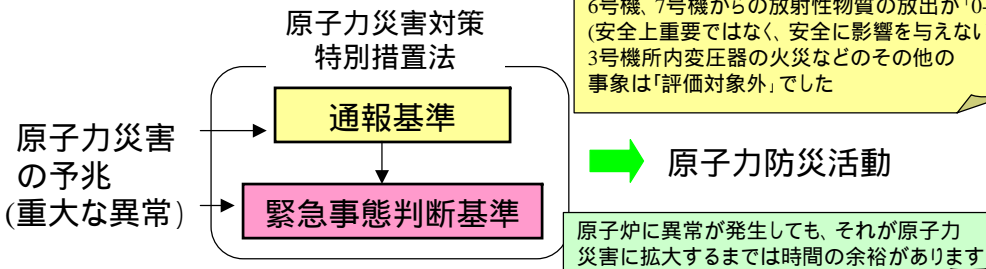
6号機、7号機からの放射性物質の放出は、環境への影響はありません



地震の時には原子力防災は機能していなかったの？

原子力災害の予兆となる重大な異常が発生した場合、原子力災害対策特別措置法により行政への通報が義務付けられています
 中越沖地震は大量の放射性物質が放出されるような原子力災害の予兆に全く至るものではありませんでした

国際原子力事象評価尺度(INES)では、6号機、7号機からの放射性物質の放出が「0-」(安全上重要ではなく、安全に影響を与えない)3号機所内変圧器の火災などのその他の事象は「評価対象外」でした



安全協定では、地震発生時に自治体に連絡することになっており、中越沖地震ではこれに基づいた連絡が行われました

地震発生	国	新潟県	柏崎市	刈羽村
10時13分	10時25分	10時35分	10時37分	11時18分

何故あらかじめヨウ素剤を配布してくれないの？

ヨウ素剤の服用により、まれに特異体質の人などに、アレルギー反応が起こり得ます。また、妊婦、新生児、甲状腺疾患患者のヨウ素剤服用にも特別の配慮が必要です。したがって、ヨウ素剤の服用は事故時の放射線防護計画全体の中で適切な判断・指導の下実施されるべき防護対策です

建物・機器は取替が必要？

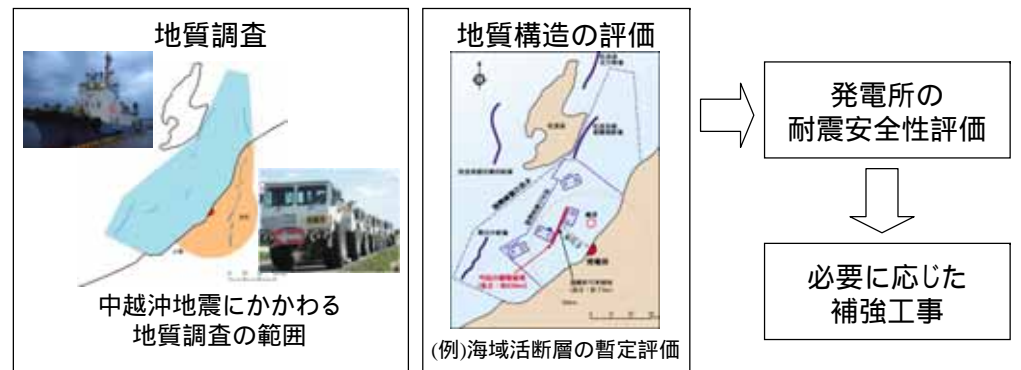
「止める」「冷やす」「閉じこめる」に必要な機器は、外観点検や機能確認のための運転により動作を確認しております

詳細な点検・解析を実施し、地震による設備への影響を確実に把握することが第一と考えています。国などからの確認も頂きながら、点検を行い、必要なものは取替を実施します



3号機 主蒸気隔離弁(閉じこめる機器) 3号機 残留熱除去系ポンプ(冷やす機器)

設備の耐震強度をもっと上げるべきではないか？



平成18年に設計時に発電所が守らなければならない耐震指針が改訂されました。柏崎刈羽原子力発電所では、建設時および平成18年に地質調査を行っています。これに加えて、中越沖地震に関わる地質調査を行い、当所の耐震安全性評価をし、必要に応じた補強などを行います。また、災害に強い発電所を目指して、消火設備等の改善も行います。